

社会福祉協議会会長賞

堺市立 美原西中学校 三年

「愛情」～私の願う世界～

室 地 美 空

私はこの題材を見たとき、社会が明るいとはどういう意味なんだろうと思った。そして私は「犯罪や非行のない、みんなが気持ちよく笑つて過ごせる社会」という意味だと考えた。

そもそも人はどうして犯罪を犯すのだろうかと疑問に思った。たくさん理由があると思うがその中でも私は、今までのつらい環境が人を追いつめ、良くない影響を与えてしまう場合があるのではないかと考えた。例えば親から虐待を受けていたり、いじめやパワハラを受けていたり。そういう事を無くすために必要になつてくるのが「愛情」ではないかと私は考えた。

前に、私がしてはいけないことをしてしまった時、母は私のことを叱り、もう同じ事はするなと言われたことがある。その時は少しムツとなつてしまつたが今になつて考えるとそれも愛情であり、私が大人になつた時、犯罪や非行をしないように教えられていたんだなど気づいた。

友達同士とも愛情が必要だと思う。実際に私はそう思わせるような体験をいくつもしている。例えばこんなことがあった。

私は細かい作業が苦手で家庭科の裁縫の時間はあまり好きではなかつた。でも家庭科の先生に裁縫をすると知らされ、みんなが裁縫を始めているとき、私は一人で困つていた。すると困つている私を友達が見つけてくれて「手伝おうか?」と声をかけてくれた。私は「ありがとう」と言い、友達はにこつと笑つて手伝つてくれた。結局その友達にほとんど頼りっぱなしだつたけれどともも助かつた。

これとは逆に、私が動けた出来事もあつた。友達が数学の時間に分からなそうにしていたのを見つけ、私は「分からないところがあるなら教えるよ。」と言つた。すると友達に「ありがとう。」と言われた。その言葉を聞いた時とても嬉しい気持ちでいっぱいになり、もっと人のためになりたいなと思った。友達も私がありがとうと言つた時、にこつと笑つたのもそういう事だつたのではと思つた。

人は人から恩を受けると恩を返したいと思うのではないかと思ふ。そして友達とも友愛があるから互いに協力し合つたり、思い

やりのある行動をするのだと思つた。

でも愛情を注がれていない人はどうだろうか。まず親からの愛情がなければ、これはしてはいけないことだと判断が難しくなる。そうすると社交の場に出たとき、友達が出来にくくなり、いじめを受けてしまうかもしれない。そして、恩を人から受けにくくなる。そういう人は愛情とは無縁な心が空っぽな人になり、ストレスが溜まるかもしれない。

愛情一つでその人の人生は変わり、社会を明るくする事から一步遠のいてしまう。だからこそ愛情は人生において大切なものだと気づかされた。愛情はいくら分け与えても減るものではない。なら、みんながみんな愛情を与えあつたら社会を明るくできるのに、一歩近づくのではないかと考えた。

人は一人では生きていけない。みんなで支え合つて生きていかなければならぬ。愛情がなければそれは一人で生きていけと言われているのと同じだ。そして心が空っぽになつて取り返しのつかないことをしてしまう。だからこそ、そうならないよう愛情たっぷりで育ててくれた人に感謝しなければならない。それと自分ももつと周りの人に恩返しをしていきたいと思つた。

私は誰一人愛情に飢えた人を作らず、みんな愛情を注がれて生きていけるような優しい世界を作つていきたい。そしていつか犯罪や非行のない、愛であふれた素敵な世界になることを祈る。

